

平成 27 年 3 月 18 日
消費者庁
独立行政法人国民生活センター

洗濯用パック型液体洗剤に気を付けて！ －特に 3 歳以下の乳幼児に事故が集中しています－

洗濯用パック型液体洗剤は、新たな形の洗濯用洗剤として、近年、日本でも製造販売が行われています。計量の必要がなく簡便という利点があるものの、フィルムが破れ、洗剤が口や目に入る等の事故情報が消費者庁に寄せられています。フィルムは水に溶けやすいため、子供が握ったり噛んだり遊んでいるうちに、破れてしまうケースが多く、特に 3 歳以下の乳幼児に被害が集中しています。

また、海外でも同様の洗濯用パック型液体洗剤で、同種の事故が多数報告されています。

乳幼児の手の届かないところで保管するよう注意して御使用ください。

備考：本件公表は、経済協力開発機構（OECD）、欧州委員会及び 21 の国が連携して取り組む「洗濯洗剤カプセル／パッケージに関する国際啓発キャンペーン（2015 年 3 月 16 日～23 日）」の一環として実施するものです。世界では、洗濯用パック型液体洗剤に関する事故が年間 16,000 件以上報告されており、国際社会全体で洗濯用パック型液体洗剤の安全な使用と保管について啓発を促進することを目指しています。（別紙参照）

1. 洗濯用パック型液体洗剤について

国内で販売されている代表的な洗濯用パック型液体洗剤は、中性の濃縮液体洗剤を水溶性のあるフィルムで包んだ、触ると柔らかいものです。

大きさは、3.6×4.1×3.0センチメートル（平均）で、3 歳児が手で持ったところ片手で覆えない大きさでした。3 歳以下の乳幼児の口の大きさには入らないこと、フィルムが水に溶けやすいことを考慮すると、窒息の可能性は低いと思われませんが、乳幼児は身の回りのものを何でも口に入れようとするので注意が必要です。（写真 1）

写真 1 代表的な洗濯用パック型液体洗剤



表 代表的な洗濯用パック型液体洗剤の表示（抜粋）

正味量	500g（20 個入り）
液性	中性
使用量	1 個（水量 65L 以下、衣類 6kg 以下）
成分	界面活性剤（66%：純せっけん分（脂肪酸ナトリウム）、直鎖アルキルベンゼン スルホン酸塩、ポリオキシエチレンアルキルエーテル、アルキルエーテル硫酸エ ステル塩）、安定化剤（プロパンジオール）、分散剤、金属封鎖剤、香料、水軟 化剤、酵素、蛍光増白剤
注意表示など	子供の手の届かないところに置いてください 子供に注意 目に注意 めれた手でさわらない 切らない破らない これは食べ物ではありません （使用上の注意） ●子供やペットの手の届くところに置かない。●口に入れたり、飲み込んだりし ない。●目に入らないよう注意。●用途以外に使わない。●下洗いや手洗い用 に おすすめしません。●製品を長時間、触らない。●製品を強く押ししたり、濡れた 手で扱ったり、フィルムをはがしたりしない。●製品が破れて原液が洗濯機のふ たについたときには、水ですぐにふき取る。●使用後は直射日光を避け、できる だけ湿気の少ない所に保管する。●中身が溶け出るのを防ぐため、ふたをしま り閉めて保管する。●この容器を他の用途に使用しない。
保管方法	製品が溶け出すのを防ぐため、容器のフタをしっかりと閉めて保存してください。 また、高温・多湿を避けお早めにお使いください。

2. 洗濯用パック型液体洗剤の事故情報

（1）主な事故事例

【事例 1】

パックタイプの液体洗剤を子供が握ったら破裂し、目の中に入った。目の表面
が洗剤で覆われてしまったので急いで水で洗い流し、治療を受けた。

（事故発生日月 平成 26 年 6 月、3 歳・女兒）

【事例 2】

親が洗面所で洗濯中、別室にいた子供が吐き、泣き出した。洗濯機の横 60cm の高
さに置いてあった洗剤をかじってしまった様子。すぐに吐き出させて口をゆすい
だが、口が痛いという。（事故発生日月 平成 26 年 6 月、4 歳・男児）

【事例 3】

高さ 1 メートルくらいの棚に保管していた洗剤を、子供が箱から 1 つ取り出して
遊んでいたところ飲み込んだ。母親が指を突っ込んで吐かせ、牛乳を飲んで病院を
受診。（事故発生日月 平成 26 年 11 月、1 歳・男児）

【事例 4】

製品同士がくっつき始めたため、その度に剥がしながら使っていた。いつものよ
うに剥がそうとすると、フィルムが破れ、中身が目に入った。眼科を受診、1 週間
後にはほぼ回復。（事故発生日月 平成 26 年 10 月、90 歳代・女性）

(2) 消費者庁に寄せられた事故情報の概要

国内で販売されている代表的な洗濯用パック型液体洗剤は平成26年4月に発売が開始されていますが、平成26年の発売開始から平成27年1月末までの間に、消費者庁には延べ152件の事故情報が寄せられています。内訳としては、事故情報データバンク※¹に13件、医療機関ネットワーク※²に6件、製造事業者から130件（うち、公益財団法人日本中毒情報センター受付分が102件）、公益社団法人日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会 Injury Alert（傷害速報）に3件となっています。

消費者庁に寄せられている事故情報の内訳を、図1、図2に示しています。年齢別では、3歳以下の乳幼児が110件（72.4%）と大半を占めており、またほとんどの事例が、フィルムが破れ中身が出て口や目に入ったというものです。

図1 年齢・年代別事故情報

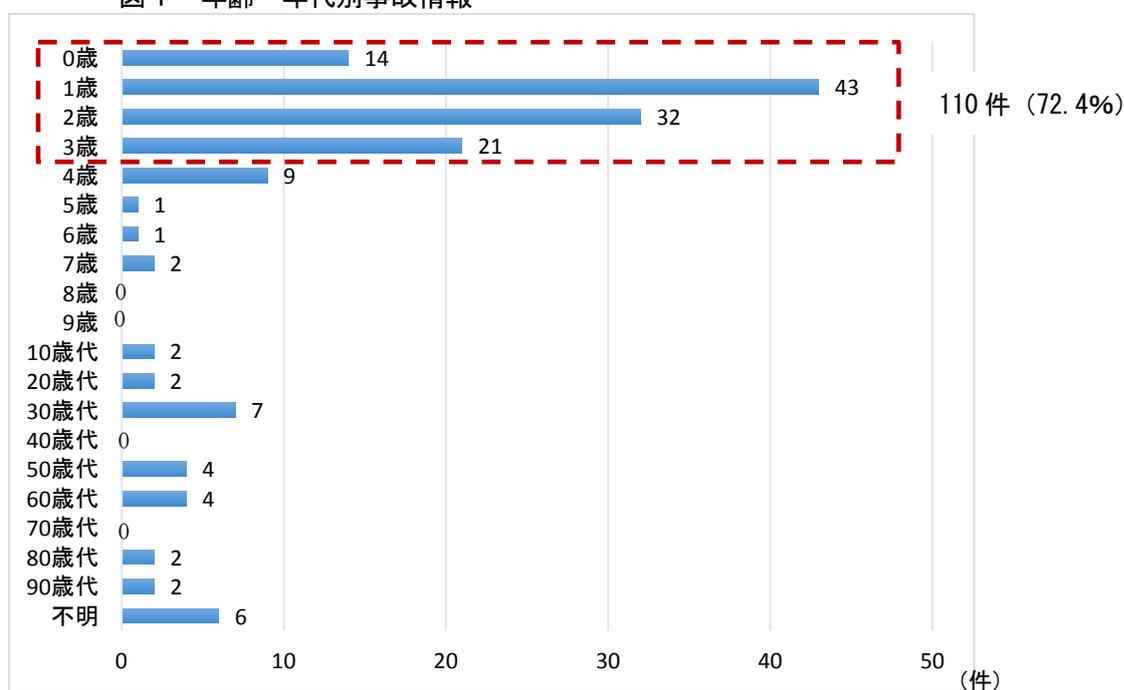
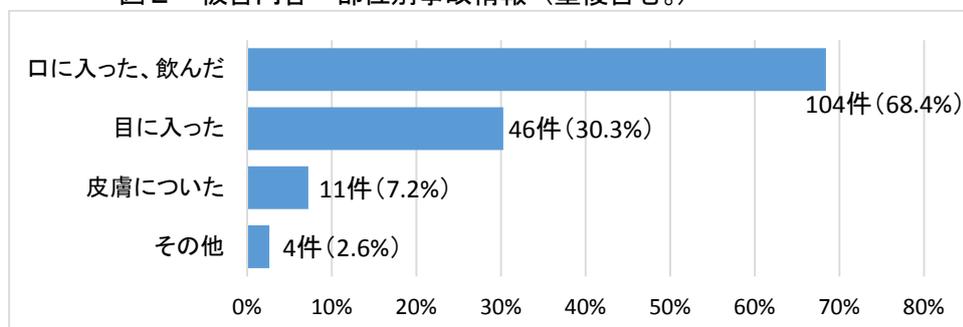


図2 被害内容・部位別事故情報（重複含む。）



※¹ 「事故情報データバンク」は、消費者庁が独立行政法人国民生活センターと連携し、関係機関より「事故情報」「危険情報」を広く収集し、事故防止に役立てるためのデータ収集・提供システムです。（平成22年4月運用開始）

※² 「医療機関ネットワーク事業」は、参画する医療機関（平成27年3月時点で24機関）から消費生活上の事故情報を収集し、再発防止に活かすことを目的とした消費者庁と独立行政法人国民生活センターとの共同事業です。（平成22年12月運用開始）

3. 国民生活センターによるテスト結果

国内で販売されている代表的なパック型液体洗剤は、簡単には破れない強度を持ちながら、わずかな水で溶け出し洗濯している間に溶けきる特殊なフィルムで包まれています。

もともとフィルムは水に溶けやすいものなので、濡れた手で触れない、高温・多湿を避けて保管することなどの注意が必要です。

一方、消費者からの申出には、子供が口に入れてしまった、洗剤同士が付いてしまったというものがあります。そこで、子供が口に入れた場合や洗剤同士が付いた場合にどのような状況になるのか検証しました。

(1) 子供が口に入れるとフィルムが破れることもあります

特に3歳までの子供の行動特性の一つに、身の回りにある物を口に入れて調べようとするがあります^{※3}。こうした行動特性は、生後6か月頃を過ぎると、つかんだものを口にすることは発達段階の一つで、反射の一つとも考えられています。消費者の申出に「幼児がパック型液体洗剤を口に入れて噛んだ」、「手に持っていた時に破れた」等の事例がみられます。

そこで、幼児がパック型液体洗剤を手に取り、口に入れようとしたことを想定して、①幼児がパック型液体洗剤を手に取り口に入れ唾液やよだれが付着し噛んだ場合、②パック型洗剤を手に取り口に入れた後、手で握った場合に、それぞれどのような状況になるかを検証しました。

① 手に取り口に入れ噛んだ場合

乳幼児が玩具を口にして噛み切ったり、割れたりしないかを調べるための「噛む試験器」^{※4}を用いて、口に入れて噛んだことを想定した検証を行いました。

噛む試験器にパック型液体洗剤を置き、唾液やよだれを想定して、水を垂らし（水約0.5g垂らし、約0.1gが洗剤に付着）、速やか（5～7秒後）に荷重（6N（0.6kgf））を加えたところ、フィルムが破れ、液体洗剤が漏れ出しました。（写真2）なお、豆腐は同等の荷重（4N（0.4kgf））でつぶれました。

写真2 口に入れて噛んだことを想定



（唾液やよだれを想定して、水を垂らす。）



フィルムが破れ、中身が漏れ出た。



※3 ISO/IEC ガイド 50 安全側面-子供の安全の指針

※4 玩具安全基準書（ST-2012、一般社団法人日本玩具協会）

② 手に取って口に入れた後、握った場合

幼児がパック型洗剤を手に持ち、口に入れた後、握ったことを想定し、成人モニター（10名、男女各5名）が、濡れた手で軽く握った場合に、フィルムが破れ中身が出るのか調べました（手に水約0.5gをスプレーし、洗剤を軽く握った場合、約0.1gが洗剤に付着。）。

モニター10名に濡れた手のひらで20～30秒間持ってもらった後に、握ってもらったところ、全員が「簡単に割れた」、「とても簡単に割れた」と回答し、フィルムが破れ、中身がはね出ることがありました。（写真3）

写真3 口に入れた後、握ったことを想定



(2) パック型液体洗剤を濡れたまま保管してしまうと、洗剤同士が付いてしまい、剥がそうとすると破れて中身がはね出ることもあります

「洗剤同士が付いてしまい、剥がそうとして中身が出てしまった」等の申出も寄せられています。水に溶けやすいフィルムが使用されていることから、万が一、濡れた手で触れるなどして、濡れたパック型液体洗剤がケースに入った場合にどのような状況になるのか検証しました。

洗剤一つを濡らして（水約0.5gをスプレーし、約0.1gが洗剤に付着。）、洗剤が入っているケースに戻し一晩（12時間以上）置いたところ、濡らした洗剤が乾燥し接触していた別の洗剤に付くことがありました。さらに、剥がそうとしたところ、フィルムが破れ中身がはね出ることがありました。（写真4）

写真4 ついてしまった洗剤を剥がそうとしたら中身がはね出ることがあった



4. 消費者の皆様へ

(1) 洗剤は子供の手の届くところには置かないようにしましょう。

洗濯用パック型液体洗剤のフィルムは、水に溶けやすいため、舐めたり口に入れたりすると、唾液によりフィルムが溶け、誤って洗剤を飲んでしまうおそれがあります。また、濡れた手で握っているとフィルムが破れて洗剤が飛散し、口や目に入る可能性もありますので、子供の手の届くところ（特に床や洗面台の下等）には置かないよう注意して御使用ください。子供は、意外と高いところまで手が届きます。高いところであっても手前には置かないよう、また、近くに足場になるものがないよう気を付けましょう。

(2) 洗剤を使用後は、必ずフタをしっかりと閉めて、決まった置き場所にすぐ戻すよう習慣づけましょう。

少しの間、床に置いた隙に子供が触ってしまい、事故が発生しているケースもあります。使用後は必ずフタを閉めて、決まった置き場所にすぐ戻す習慣を作りましょう。

(3) パック型液体洗剤を濡らさないように、気を付けましょう。

水に濡れると溶けやすいフィルムのため、濡れた手で触ったり、フタを開けたまま保管すると、洗剤同士が付いてしまうことがあり、またそれを剥がそうとすると破れて中身が飛び出ることがあるので気を付けましょう。

5. 対処方法^{※5}

●飲んでしまった場合

できるならば口をすすがせ、水又は牛乳を少量飲ませて、受診する。吐物が気管に入ってしまうおそれがあるため、無理に吐かせない。

●目に入ってしまった場合

こすらずに、すぐに水で10分以上洗い流して、受診する。

●皮膚についた場合

すぐに大量の流水で洗う。付着した衣服は脱ぐ。

【眼科医からのアドバイス】

烏山眼科医院 福下公子医師

万が一、洗剤が眼に入ったときは、すぐに水で10分以上洗いましょう。なお、洗う際は、洗剤で眼の角膜が弱くなっているおそれがあるので、更に傷をつけないためにも勢いの強い（水圧の強い水）で洗わないでください。また、眼の周囲にも飛び散っている場合には、濡れたタオルで丁寧にふき取り、決して強くこすらないでください。

洗眼が終わったら、必ず眼科医を受診し、眼に何が入ったのか告げましょう。また、夜間や休日に起きた場合には救急診療を受けましょう。その際には、眼に入った商品の成分が分かる成分表示が記載されたパッケージなどを持参してください。

^{※5} 界面活性剤を含んだ中性又は弱酸性・弱アルカリ性の洗濯用洗剤への一般的な対処方法です。御使用の洗剤の容器等に表示されている対処方法を確認してください。

主な相談機関

◆小児救急電話相談

休日、夜間の子供の急な病気への適切な対処の仕方や、受診する病院等について、小児科医師や看護師のアドバイスを受けることができます。



#8000 番をプッシュすると、お住まいの都道府県の相談窓口に自動転送されます。（通話料は相談者負担）

厚生労働省ウェブサイト：<http://www.mhlw.go.jp/topics/2006/10/tp1010-3.html>

◆公益財団法人日本中毒情報センター 中毒 110 番

医薬品、化学物質（たばこ、家庭用品など）、動植物の毒などによる中毒事故への対処について、薬剤師等のアドバイスを受けることができます。

【連絡先】（通話料は相談者負担）

大 阪：072-727-2499（24 時間対応）

つくば：029-852-9999（9～21 時対応）

日本中毒情報センターウェブサイト：<http://www.j-poison-ic.or.jp>

本件に関する問合せ先

消費者庁 消費者安全課

牧野 中川 辻野

TEL：03(3507)9137（直通）

FAX：03(3507)9290

HP：<http://www.caa.go.jp/>

独立行政法人国民生活センター

商品テスト部 河岡 仲野 松本

TEL：042(758)3165

FAX：042(758)5626

HP：<http://www.kokusen.go.jp/>